

2021 年度 個人研究実績・成果報告書

2022 年 3 月 23 日

所属	商経学部	職名	准教授	氏名	西村修一
研究課題	高等学校における情報人材の育成				
研究キーワード	情報教育、情報科教育、 産業教育	当年度計画に対する 達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの 成果が達成できた		
関連する SDGs項目	4. 質の高い教育をみんなに	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	該当なし	該当なし	

1. 研究成果の概要

近年、知識基盤社会の到来、情報社会の進展、高度な情報技術をもつ IT 人材の需要増大などの流れの中、小学校ではプログラミング教育が導入されるとともに、中学校では技術・家庭科を中心とした情報教育の充実、高等学校では教科情報科の内容等の改善や大学入学共通テストの出題教科への追加など、情報教育や情報科教育の重要性がますます高まっている。

一方で、情報に関する学科については、他の職業教育に関する学科と比較して、学科の設置が進んでいるとは言えない状況にある。

情報に関する学科のもつ課題の一つには、高等学校学習指導要領及び産業界の要請と各学校における取組の実態とが必ずしも合致していないことが考えられる。このことを踏まえ、情報に関する学科の充実方策について、育成を目指す人材像の焦点化、専門教科情報科の位置付けの再検討、情報に関する学科の位置付けの適正化、教科情報科担当教員対象の研修の充実といった視点から探究した。

なお、千葉商科大学紀要 59 巻第 2 号に投稿したことから、次年度に予定していた指導方法・指導技術に関する研究について、前倒しして研究を始めた。

2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

【論文（査読あり）】

なし

【著書・論文（査読なし）】

○上記 1. の内容を「高等学校の専門学科情報科における情報人材の育成について」と題した研究論文にまとめ、2021 度の千葉商科大学紀要 59 巻第 2 号に投稿した。

○これまで取り組んできた研究成果を「育成を目指す資質・能力に基づいた教科情報科における指導計画・学習評価及び代替履修について」としてまとめ、2021 度の千葉商科大学紀要 59 巻第 1 号に投稿した。

【学会発表等】

○2021 年 6 月に、国府台学会研究会において「北海道の地域特性と高校教育の現状・課題」と題して発表するとともに、2021 度の千葉商科大学紀要 59 巻第 2 号に投稿した。（査読なし）

○2021 年 6 月に千葉県高等学校教育研究会商業部会における「新しい学習指導要領のスタートにあたって～商業科の先生に期待すること～」と題する講演を行った。

○2021 年 7 月に石川県教員総合研修センター主催研修講座「教科指導リーダー養成研修（商業）」及び「指導に生かす評価の在り方」において、「新学習指導要領における改訂点と評価のあり方について」と題する講義を行った。

3. 主な経費

上記研究を進めるために、パソコンやプリンタを購入したほか、関連書籍の購入や文具代、所属学会の年会費等に使用した。

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

2021年8月に日本商業教育学会会長に就任した。